

石巻復興支援×若者自立就労支援

やっぺす通信 vol.20

2013.7.19発行

www.k2-inter.com/ishinomaki

やっぺす通信とは「よこはま型若者自立塾」による石巻復興支援プロジェクト【うんめえもん市】の活動や石巻の現状、若者支援の活動報告をお伝えしています。石巻の美味しいお弁当を食べながら、遠く東北の地で頑張っている若者達に想いを寄せていただけると嬉しいです。



石巻はまだ梅雨明けしていないので、夏の暑さは到来していません。

「うんめえもん市応援団!」 応援ファイル NO.4 横浜コミュニティデザインラボ 代表 杉浦 裕樹さん

うんめえもん応援団として【横浜デザインコミュニティラボ】の代表 杉浦裕樹さんにインタビューを敢行しました！横浜コミュニティデザインラボでは、うんめえもん弁当をご購入いただき、定期的にランチミーティングを開いていただいています。この他にも「情報」をキーワードに様々な形の被災地支援を続けていらっしゃいます。

■横浜デザインコミュニティラボをご紹介します。

創造的な横浜のまちづくりを実践している非営利団体です。横浜の社会資源（ヒト／組織／拠点／制度等）や、地域の価値ある情報を市民の「共有財」として「まちづくり」に活用する仕組みを実践型で研究しています。シェアオフィス「さくらWORKS」や「ヨコハマ経済新聞」なども運営しています。被災地支援に関しては、震災直後から情報ボランティアを募集、横浜から応援を続けています。

■被災地支援を始めたきっかけは何ですか？

石巻支援を始めたのはシェアオフィスの会員さんの一人が石巻出身だったことがきっかけです。同じ人を通じて、「ヨコハマ経済新聞」の姉妹紙である「石巻経済新聞」の立ち上げにも携わりました。

■現在行っている石巻支援の内容はどのようなものですか？

当時避難所になっていた石巻湊小学校のドキュメント上映会や、都筑区でのCMプロジェクトなど、主に横浜エリアで活動しています。個別ではありますが、社員は神奈川県災害ボランティアネットワークを通じて石巻や岩手県大槌町など被災地に直接赴きボランティア活動にも参加しています。うんめえもん市に関わりのあるところでは、うんめえもん市のお弁当を活用してのランチミーティングを開いています。

■ランチミーティングについて詳しく教えてください。

被災地に対して思いのある人に集まっていただき、石巻の食材を使ったお弁当を味わいながらお話を楽しんでいただく場です。被災地を忘れずに活動を継続していこうというのが目的です。2012年4月から始めてこれまで11回開催しました。話題提供として石巻出身の方をお招きしたこともありますし、シェアオフィスの紹介者さん、市役所職員さんが参加されたこともありました。毎回10~20人ほどの人にお集まりいただき、立食形式で和気あいあい楽しんでもらっています。当日の飛び込みも大歓迎です。

■うんめえもん市に応援メッセージをいただいてもよろしいでしょうか？

うんめえもん市は「石巻支援と若者自立支援」を目的としていますが、その活動内容に賛同します。被災地に直接赴くことは若者にとって非日常的で、得難い経験の場だと思います。例えば現地の方に感謝されることは、自分の存在意義を再確認出来る機会になると思います。ぜひたくさん人に経験してもらいたいです。これからもぜひ続けてほしいと思います。また、今後はうんめえもん市と一緒に活動が出来たら良いとも考えています。

(取材：吉田麻衣子)

ありがとうございました！今後ともどうぞよろしくをお願いします！

横浜は猛暑が続いているようですが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？石巻は梅雨明けしておらず、毎日雨が降っており、気温も最高気温が20度前半と肌寒い日が続いています。エアコンなしで過ごすことが出来るのもまた石巻の魅力の一つと感じています。ころんでは毎日仮設住宅を回り移動販売を続けていますが、その中で一つ気が付いたことがあります。それは、震災から三年目を迎えた今ようやく当時のことを話すことが出来るようになってきた方が多くいらっしゃるということです。

しかし一方でその話を話す相手がいない。周りに住んでいる人たちは皆同じ被災者でありそれぞれ大変な経験をされた故、ようやく吐き出すことの出来るようになった思いを受け止めてもらうことは出来ない状況なのです。支援の緊急性はなくなったということで、震災当初から入っていた支援団体も撤退し、NPO団体等の支援のノウハウは地元の方々に引き継いでいく流れとなった今、被災者の方々の震災当時の大変な思いをした言葉を聞いてくれる人たちがいなくなっていつているのです。

被災地のニーズは月日の経過と共に日々変わってきていますが、月日の経過と共に言葉にならなかった言葉が出せるようになってきている方々があります。それは被災地に限らず誰でもそうですよね。耐え難い経験をした時、辛い悲しい経験をした時、その当時は考えたくなかったり、言葉にすることが出来なかったりした事でも、時が経ち気持ちの整理が付き、吐き出すことが出来るようになって楽になった経験は私自身もあります。

この夏、石巻を始め東北へ遊びに来て、ちょっと時間を取って震災当時の話を聞いてみることも大きな大きな支援になるのではないかと思う今日この頃です。石巻へ来られる際には宿もご用意しておりますので是非お声掛けください！

☆NPOヒューマンフェローシップ事務局長・石巻スタッフ 福島 竜☆

お好み焼ころんぶす石川町店

横田店長による【食べて応援石巻！石巻復興支援メニュー紹介】！！

こんにちは、「お好み焼ころんぶす」石川町店長の横田です。K2グループで経営している「お好み焼ころんぶす」ではうんめえもん市同様、「石巻復興支援」をテーマの一つとしており、石巻食材を使ったメニューを多数ご用意しております。僕のおすすめは、「そばめし玉子ロール」。「石巻焼きそば」で作る「そばめし」をふんわりうす焼き玉子で巻いたもので、僕たちは「B級グルメの帝王」と呼んでいます。うんめえもん市でも販売していますが、「ころんぶす」に来ればいつでも食べられます！【お好み焼き】の人気メニューは、「山芋ねぎ焼き」。「ちりめんじゃこ」が石巻産です。キャベツ使っていないので軽い口当たりです。常連さんからは「コリコリのあれ」と言われます(笑)。【その他】、「ちりめん」と「すき昆布」、「ふのり」を使った「梅じゃこサラダ」は女性に大人気。サラダの中では定番メニューを追い越して、トップの人気になりました。日本酒には全国的にも有名な「日高見」、「墨酒江」の石巻地酒ツートップを他にはない低価格で提供中です。応援メニューの存在を知って、石巻物食材を使ったメニューを選んでくれるお客様もいらっしゃいます。店頭でうんめえもん市の物産も販売しているんですが、「鯖の味噌煮缶」や「鯨大和煮缶」はその場で食べてもらうこともあるんですよ。ここで石川町店からのお知らせです。毎月第四土曜日はジャズイベントを開催中。生演奏を聞きながらお食事を楽しんでいただけます。もちろん石巻メニューも食べられますよ。高砂長寿味噌を使った「石巻たこ焼き」もあります！どうぞ一度足を運んでみてください☆

◆うんめえもん市 7・8月開催予定◆ ※予定は変更されることがあります。詳しくは事務局までお問い合わせください。

7月22日(月)都筑区役所(11:00~16:00)、23日(火)鶴見区役所(11:00~14:00)、

26日(金)栄区役所(11:00~14:00)、29日(月)横浜市役所本庁舎1階(11:00~14:00)、

30日(火)磯子区役所(11:00~16:00)、8月6日(火)磯子区役所(11:00~16:00)、

10日(土)K2ビル(10:00~14:00)、19日(月)横浜市役所本庁舎1階

(11:00~14:00)、23日(金)栄区役所(11:00~14:00)、

26日(月)金沢区役所(11:00~14:00)、29日(木)都筑区役所(11:00~16:00)



やっぺす通信発行元 ちあつきー
NPO ヒューマンフェローシップ
うんめえもん市 TEL045-762-1435(岩本・田上)